

人間はどこまでパラダイム・シフトし得るか

二項対立型思考からの脱却とネットワーク型思考の可能性

手法 1 数学

「グラフ理論」を用いた分析

グラフ理論はネットワークの性質を研究する数学の一分野である。

<グラフ理論から>

- ・ネットワークの持つ性質や規則
- ・ネットワークを拡張、一般化する手法

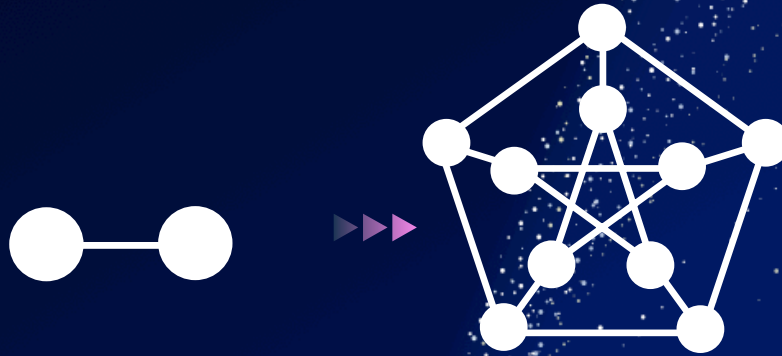


<思考への展開>

- ・ネットワーク型思考の性質や規則
- ・二項対立思考をネットワーク型思考に拡張、一般化する手法

グラフ理論を用いてネットワーク化された現象を解析。

- ・良い組織のネットワークとは？
- ・効率のよいネットワークは？
- など。



天動説 ↔ 地動説

教師 ↔ 生徒

サーバ ↔ クライアント

医療, 脳モデル, 心身, 論理
国境, 市民権, 貨幣, 流通
ジェンダー/セクシャリティ
政治, 言語, 文系理系…

方有引力によるネットワーク

アクティブ・ラーニング

ピア・トゥ・ピア



手法 2 哲学 心理学

ネットワーク型思考の確立

二項対立型思考やネットワーク型思考とは何なのかを熟考。数学的議論ではこぼれ落ちてしまうものも拾い上げる。

手法 3 人文・ 自然科学

現象への適用

社会構造や現象モデルにネットワーク型思考を適用。新たな世界のあり方と知の可能性を探る。

善と悪、正常と異常、本質と現象、人文科学と自然科学…これまで人間は常に二項対立に基づいて世界を理解し、細分化し、統治してきた。しかしこれは、現実を理想化し、ネットワークの中でもっとも単純な二項関係という図式の中に全てを押し込めてしまう行為でもあった。

現実世界では、あらゆる物質が生命が人々が、多様に関連し合い、互いに結びつき、ネットワークを形成しながら共生している。対立によって思考することから人間が自由になり、絡まり合った豊かなネットワークとして世界を認識し物事を捉え現象を分析し、そして我々のあり方と生き方を見直していくことその先には、いったいどんな世界と知が広がっているのだろう。

我々は数学を起点とした多分野の協働・融合により
二項対立型思考からネットワーク型思考へのパラダイム・シフトに挑戦す！